

苗字の研究 —— 大阪府の泉州地域を中心にして ——

37 期生

I テーマ設定

自分の苗字（以後、姓と書く）は田中である。これはたいへん多い姓で、日本国内では3番目に多い。1位の鈴木、2位の佐藤はもっと数が多く、日本の総理大臣にもそんな姓の人がいたし、S & Bという食品工業の会社からは「鈴木くん」「佐藤くん」という商品名のお菓子も発売されており、次は「田中くん」だろうかとも想わせる。

日本全体では以上の3種類の姓が多いが、ぼくが住んでいる大阪ではどうだろうか、やはりこの鈴木、佐藤、田中が多いのか。それとも他に大阪特有の数多い姓があるのだろうかという疑問がこの研究をするきっかけになった。

II 研究方法

昭和57年度の泉州地区の50音別でんわ帳（電電公社発行）をもとにしてしらべた。なぜ泉州版のでんわ帳を選んだかという、大阪市内などのような都会は、地方からの移住者がたくさんいるので、大阪の個性的なところがくずれているからである。大阪のキタに比べると開発のおくれている南大阪の泉州地区では大阪独特の数値が得られると思う。

まずはじめに、泉州地区での鈴木、佐藤、田中を苗字としている姓数をしらべる。でんわ帳の1行を111件とさだめ、何行あるかという方法で数える。

次に、泉州地区の行政区（和泉、泉大津、泉佐野、貝塚、岸和田、泉南の6市、熊取、田尻、阪南、岬、忠岡の5町の計11の区域）ごとに多い姓のベスト10を出し、日本全国ベスト10と比較する。

III 研 究

次の表は、泉州地区内の鈴木、佐藤、田中の姓数である。この表をみると、泉州地区では、3つの中では田中がいちばん多く、2,955姓。鈴木、佐藤はそれよりはるかに少なく、それぞれ639姓、642姓である。田中が多いという事実は、泉州地区、いや、都市化する前の近畿地方にも言えたことではないだろうか。

泉州地区での3大姓

	和泉市	泉大津市	泉佐野市	貝塚市	岸和田市	泉南市	熊取町	田尻町	阪南町	岬町	忠岡町	合計
鈴木	118	90	59	56	139	42	55	5	36	19	17	639
佐藤	130	68	57	56	154	57	20	4	49	25	22	642
田中	560	240	324	324	844	161	192	17	152	72	64	2955

※ 姓数を数えるとき、商店、事務所なども数に入ってしまうが、すべてにおいて同じ条件なのでそのままにしておいた。

数字は姓の数を示す

泉州地区では鈴木、佐藤があまり多くないことがわかったが、それならその代わりに他にどんな姓が多いのかを知るために、各市町ごとのベスト10を出した。比較をするために、日本全国のベスト10も掲載しておく。

日本全国ベスト10

1位	鈴木
2位	佐藤
3位	田中
4位	山本
5位	渡辺
6位	高橋
7位	小林
8位	中村
9位	伊藤
10位	斉藤

泉州地区の姓のベスト10

和泉市	泉大津市	泉佐野市	貝塚市
1位 藤原	1位 藤原	1位 田中	1位 山本
2位 田中	2位 田中	2位 南	2位 田中
3位 山本	3位 山本	3位 古谷	3位 南
4位 辻	4位 吉田	4位 山本	4位 川崎
5位 高橋	5位 井上	5位 神藤	5位 中野
6位 小林	6位 奥野	6位 山田	6位 岸本
7位 井阪	7位 中村	7位 奥野	7位 井上
8位 森	8位 八木	8位 向井	8位 西田
9位 前田	9位 高橋	9位 藤原	9位 藤原
10位 中村	10位 辻川	10位 松浪	10位 松本

岸和田市	泉南市	熊取町	田尻町
1位 田中	1位 田中	1位 田中	1位 伊藤
2位 山本	2位 南	2位 根来	2位 南
3位 西村	3位 山本	3位 藤原	3位 辻
4位 松本	4位 小川	4位 小川	4位 安宮
5位 藤原	5位 上野	5位 阪上	5位 原
6位 西川	6位 辻野	6位 坂上	6位 上之山
7位 井上	7位 中野	7位 下中	7位 今井
8位 植田	8位 向井	8位 谷口	8位 大門
9位 和田	9位 古谷	9位 山本	9位 馬野
10位 藤田	10位 松本	10位 中川	10位 山田

阪南町	岬町	忠岡町
1位 山本	1位 辻	1位 藤田
2位 田中	2位 南	2位 山田
3位 南	3位 田中	3位 藤原
4位 畑中	4位 坂原	4位 田中
5位 辻	5位 竹原	5位 前川
6位 中谷	6位 松下	6位 勝元
7位 根来	7位 松本	7位 山本
8位 石橋	8位 岡田	8位 奥野
9位 中村	9位 奥野	9位 正木
10位 山田	10位 川本	10位 和田

熊取町や阪南町に「根来」という姓があるが、これは「ねごろ」とよむ。織田信長が全国統一をしたときにアンチ信長として抵抗した根来寺から由来。

前ページの表から、泉州地区において数多い姓がわかったが、それはどのように分布しているのでしょうか。市内（または町内）全域にまんべんなく分布しているのか、それとも市内、町内のあるところに集中しているのだろうか。それを知るために、今度はまたでんわ帳で、ベスト10に入った姓の住所をしらべた。ここには紙面の都合で7位までを掲載する。

（全＝市内全域に分布している）

順位	和泉市	分布
1	藤原	池田下 浦田 唐国ほか
2	田中	全
3	山本	全
4	辻	和気 北田中 寺田
5	高橋	全
6	小林	全
7	井阪	観音寺 国分ほか

順位	泉佐野市	分布
1	田中	全
2	南	全
3	古谷	日根野 上之郷
4	山本	全
5	神藤	日根野 上之郷ほか
6	山田	全
7	奥野	鶴原、新泉

順位	岸和田市	分布
1	田中	全
2	山本	全
3	西村	中井 加守 土生 尾生
4	松本	池尻 加守 包近
5	藤原	内畑
6	西川	三田 田治米 岡山
7	井上	摩湯 春木旭 岡山

順位	泉大津市	分布
1	藤原	板原 曾根ほか
2	田中	全
3	山本	全
4	吉田	板原 曾根
5	井上	池浦 二田 東助松
6	奥野	助松 東助松
7	中村	豊中 池浦

順位	貝塚市	分布
1	山本	水間 三ツ松
2	田中	全
3	南	三ツ松
4	川崎	小瀬 馬場
5	中野	三ツ松
6	岸本	津田南 橋本 三ツ松
7	井上	三ツ松 木積

順位	泉南市	分布
1	田中	全
2	南	全
3	山本	全
4	小川	全
5	上野	岡山 樽井
6	辻野	鳴滝
7	中野	全

順位	熊取町	分布	順位	阪南町	分布
1	田中	全	1	山本	全
2	根来	朝代 小垣内	2	田中	全
3	藤原	野田	3	南	自然田ほか
4	北川	大久保	4	畑中	鳥取
5	阪上	大久保 五門	5	辻	全
6	坂上	大久保	6	中谷	石田ほか
7	下中	大久保	7	根来	鳥取中

順位	忠岡町	分布
1	藤田	全
2	山田	全
3	藤原	全
4	田中	全
5	前川	高月南
6	勝元	忠岡中
7	山本	全

田尻町と岬町を掲載しなかったのは、田尻町は吉見、嘉祥寺の2つ、岬町は淡輪、深日、多奈川、孝子の4つしか地名がないのでしらべても意味がないからである。

分布をしらべてわかったことは、（多少の例外はあるが）田中、山本など、全国ベスト10に入っている姓は市、町内の全域に分布しているが、全国ベスト10に入っておらず、この泉州だけに多い姓は、市・町内のいくつかのところにまとまる分布をしているということである。

でんわ帳を見ていると珍しい姓や読み方がわからないような姓がたくさんあった。とてもおもしろいので下に紹介してみる。

☆一字姓

翁（おきな） 加（くわい） 轟（とどろき） 県（あがた） 英（はなぶさ）
 坊（ぼう） 斧（おの） 菊（きく） 筆（ふで） 油（あぶら） 禹（う）
 寿（ことぶき） 漁（いざり） 雷（いかづち） 鼎（かなえ） 冠（かんむり）
 麓（ふもと） 潮（うしお） 来（らい） 髭（ひげ）

次は二字以上の姓を書くのだが、これもたくさんあるのでさらにいくつかに分類した。

☆数字に関係がある姓

九鬼（くき） 七五三（しのめ） 一筆（ひとふで） 百百（もも）

三毛（みけ）

どちらかというと偶数の方が多かった。日本人はなんでもわりきれる性格なのだ。

☆動物に関係がある姓

乙馬（おとうま） 遊亀（ゆうき） 犬童（いぬどう） 虻田（あぶた） 鳥巢（とりす）

☆体の部分に関係がある姓

毛穴（けあな） 目（さかん） 渦尻（うずしり） 腰丸（こしまる） 指（さし）

口寸保（くちすぼ）

☆その他の珍姓

折紙（おりがみ） 加減（かげん） 知識（ちしき） 野（しめの） 金持（かねもち）

見学（けんがく） 恋中（こいなか） 吞海（どんかい）

珍姓のいくつかを紹介した。紙面の都合で今のはほんの一部だが、泉州地区だけでこんなにたくさんあるのに、日本全体だったらどのくらいたくさん珍姓があるのだろうと思う。

おわりに

今回の研究で、地域によっていろいろな姓があることや、氏姓の分布のしかたにも特色があることがわかった。珍しい姓をみつけるのはおもしろかったが、数を数えるのにはとても苦勞した。地名と氏姓との関係などもしらべるといろいろな特色を発見できそうだが、時間がなかったので今回は省略した。

－参考文献－

- 日本電信電話公社発行 50音別電話帳昭和57年度泉州版
- 実用難読奇姓辞典（増強版） 篠崎晃雄・著 日本加除出版